

ESD研究会

「持続可能な地域づくりとファシリテーターの役割」

社会参加を促す学び

持続可能な開発のための教育（ESD）においては、さまざまなレベルにおける「参加」が重要と考えられている。参加型学習における「参加」は、学習プロセスへの参加と同時に、その先にある社会参加を指している。

社会の課題に向き合うファシリテーションとは？

連続研究会では、国内外における持続可能な地域づくりの事例を通して、私たちが足元の地域課題の解決に向けてどのように一步を踏み出したらよいのかということ、外部者としてのファシリテーターのあり方やその役割に焦点をあてて考えてみたい。

研究会の中で取り上げる事例では、課題の当事者（住民や農民）が地域づくりのプロセスの中で得た学びの質にも注目し、ESDの人材養成プログラムの開発の可能性についても検討を加えたい。

第1回

■2008年5月27日（火）

18：30～20：30

■立教大学太刀川記念館 3階多目的ホール

■講師：長畑誠氏（よりあい・まなびあいネットワーク）

■テーマ：「インドネシアと日本の地域づくりの経験から学ぶ」

コミュニティ主体の地域づくりをどう実現するか、という共通の課題を抱えている日本とインドネシアの実践とその交流を紹介します。

第2回

■2008年6月5日（木）

18：30～20：30

■立教大学12号館第一会議室

■講師：小泉雅弘氏（さっぽろ自由学校「遊」）

■テーマ：「アイヌ民族との協働による取り組みから／北海道におけるESDの進展」

具体的な学習事例を紹介しながら、民族共生に向けてのアプローチを考えます。

第3回

■2008年6月17日（火）

18：30～20：30

■立教大学太刀川記念館第一会議室

■講師：嵯峨創平氏（NPO環境文化のための対話研究所）

■テーマ：「福島県奥会津における住民参加型調査と組織開発の実践」

福島県三島町「エコミュージアム構想」推進の3年間：その協働実践と地域の変化を報告します。

立教大学池袋キャンパス案内

<http://www.rikkyo.ne.jp/grp/kohoka/campusnavi/ikebukuro/campus.html>

JR・地下鉄池袋駅西口より徒歩約10分

【問い合わせ】

立教大学ESD研究センター(ESDRC)担当：上條
〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1
TEL/FAX:03-3985-2686
Email:kamijo@rikkyo.ne.jp

【申し込み方法】

[こちらから](#) (ESDRCウェブサイト)
※参加費無料／定員30名